

# 平成30年度 《保護者によるアンケート結果：12月期》

(1) 学校は教育目標や教育方針を明確に伝えている。	(2) 学校の様子、教育活動がよく理解できている。	(3) 学校は生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている。	(4) 学校は、様々な生徒指導上の問題を見逃さず対応できている。
(5) 学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している。	(6) 学校は諸活動(含む部活動)に意欲的に取り組んでいる。	(7) 学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応してくれている。	(8) 学校行事の時期は適切である。
(9) 開かれた学校として学校公開、学年だより、学級通信、学校ホームページ等で学校の様子を発信できている。	(10) 学校では楽しく、わかりやすい授業が行われている。	(11) 子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている。	(12) 家庭では学校の話など、子どもとコミュニケーションが図れている。
(13) 家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている。			

昨年度まではPTA役員によるアンケートを行っていたが、本年度より内容も精選し、7月期同様に三者懇談会に来られた保護者からアンケートを実施した。全般的にはA、B評価が多く、7月期に比べてさらにA評価が高くなっている。グラフ傾向として(11)以外はよく似た比率での結果になっている。

中でもA評価が多かったのは設問(7)の「学校は保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応してくれている」が37%。続いて「開かれた学校として学校公開、学年だより、学級通信、学校HP等で学校の様子を発信できている」という設問(9)では35%となっており、AB評価の合計では95%近くにも昇る評価となっている。一方で設問(11)の「子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている」の項目では7月期に引き続き、依然としてCD評価が43%と非常に高いことが気になるところである。家庭での自学自習の取組が学力向上にも繋がることから、さらに徹底する必要がある、ご家庭の協力も得ながら進めていきたい。